

学校教育目標

- 1 丈夫で明るくはきはきした子ども
- 2 よく考え進んで工夫する子ども
- 3 みんな仲良く きまりを守り 責任感の強い子ども。
- 4 ものを大切に感謝の心をもつ子ども
- 5 進んでみんなのために働く子ども



第1号

海老名市立東柏ヶ谷小学校

電話 (046)232-3716

平成29年4月14日(金)発行

ホームページ

[http://www.touhacusyo.edu.](http://www.touhacusyo.edu.city.ebina.kanagawa.jp)

[city.ebina.kanagawa.jp](http://www.touhacusyo.edu.city.ebina.kanagawa.jp)

いのち(命) かがやく 東柏っ子

いきいき⇒アクティブラーニングによる学び合う授業、確かな学力等の育成

のびのび⇒道徳教育の充実⇒規範意識や自己肯定感の醸成、思いやりの心と人と関わる力の育ち等

ちからいっぱい⇒たくましい心と体 健康教育(光・暗闇・外遊び) 食育を通したたくましい体づくり等



〈あいさつ〉

平成29年度の学校生活が始まりました。今年度の着任式、始業式、入学式の日には天候に恵まれました。正門で毎日子ども達を見つめる桜の木は、今年度も元気に登校する子ども達を満開で迎えてくれました。進級、入学をお祝いしているようでした。花壇には、色とりどりの花が咲き誇り生命の息吹が感じられます。子どもも大人も、これから始まる学校生活や社会生活に期待や希望をもち、新たな一歩を踏み出す4月となりました。

6日には目を輝かせたピカピカの一年生、73名を迎え、多くの方々に祝福されての心温まる入学式を行うことができました。

それぞれの子どもたちも進級した喜びを胸に、全校児童476名の「命かがやく東柏っ子」が新たに目標を抱き、精一杯がんばっていこうと胸を弾ませています。

4年目になります。保護者、地域の皆様のご理解・ご協力を得ながら、「子どもたちが 明日 かがやくために」学校運営をしてまいります。お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈一週間〉

新しい友だち、新しい先生、新しい学級との生活も2週目が終わりました。お子さまの様子はいかがでしょうか。「元気に行ってきます。」「笑顔でたきます。」「学校での毎日の生活や学習のことについて目を輝かせて話してくれたらうれしいと思います。」「今日も学校へ行くのが楽しみだな」「早く学校へ行って友だちや先生と話がしたいな」「今日の〇〇の勉強早くしたいな」こんな思いをすべての子どもがもてる学校を目指していきたいと思っています。

そのために職員一丸となって子どもたちの健やかな成長のために誠心誠意、職責を果たすつもりです。しかしなんと言っても教育の根本は家庭における教育です。「早寝・早起き・朝ごはん」「光・暗闇・外遊び」など家庭教育で果たさなければならない役割についても十分ご理解をいただき、学校、家庭がお互いの役割を果たした上でパートナーとして連携を図っていききたいと思っています。ご家庭と学校とが心をつなげて信頼しあっていくことがお子様の教育にとって何よりも大切なことでもあります。どうかよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

〈着任式・始業式〉

今年度は、着任式、始業式は5日(水)、入学式は次の日の6日(木)の午後、離任式が給食の始まる10日(月)の午後に実施しました。(入学式、離任式の様子は次号お知らせいたします。)

新たに着任した3名の先生方(小野光喜先生、松本典久先生、増村晋弥先生)のご紹介に続き、ご挨拶をいただきました。子どもたちは真剣に、そして新たな出会いに目を輝かせていました。

始業式では、「竹は節目があるから成長する」～短期目標のすすめ～を話しました。

実際に3メートルの竹を用意しました。『「節目」といってすぐに思いつく植物にこの「竹」があります。竹は一日1メートル以上成長することもある大変成長の早い植物です。しかし、ただ上へ上へ伸びたのでは、自分を支えきれなくなってしまう。そこで自分を支えるために「節目」があるのです。雪が積もった日や風が強い日はからだを「くの字」に曲げて、雪の重みや強い風に耐え、簡単に折れることはありません。「節目」がある

からです。皆さんも同じように「節目」があるから成長しているのかもしれませんが。皆さんの生活においては、1年という長い「節目」もありますし、今日の始業式や各学期、毎月とか、1週間、毎日という「節目」もあります。これらを「単なる節目」ではなく成長していく「竹の節目」にしていくためには、「目標をはっきりと立てる」ことが必要です。』と話しました。

その後、大阪城を築城した武将「豊臣秀吉」についての次のような話をしました。『若い頃、友達と将来のことを話した時のことです。「城の主になる。」「何百万石の大名になる。」と話す友達に対し、藤吉郎は「今の三百国を頑張っ、後三百石増やしたい。次に少し頑張ればできそうなことを目標にして、今している仕事に全力を尽くせば必ず認められる。1つの目標を達成すると「やった」という思いで、喜びがわいてくる。その喜びをもとに、また、次の仕事を一生懸命にしてい。一歩一歩、努力を積み重ねていきたい。」と言ったそうです。この藤吉郎の考えは、短期目標を大切にすることです。皆さんも、1日、1週間、1ヶ月というように、短期目標を立て、自分の力を固めていきませんか。そして、「竹」のように成長して、目標を達成する学級、学年にしていましよう。期待しています。』と伝えました。

〈校長の想い〉

学級開きや学年開き、また本日から始まった懇談会の話や願いは、どの学年の児童にとっても学校生活の基本であると思いますし、家庭や社会生活を営む上でも大切なことだと思います。基本的な生活習慣として小学校だからこそしっかりと身につけていきたいことです。この基本がしっかりしてこそ「学ぶ意欲に満ちた思いやりのある人間」に育っていくのではないのでしょうか。全校職員そして全校児童がめざしていく「学校教育目標」(デザイン化したものは次号で紹介します。)が表の上部に示してあります。この学校教育目標が達成できるように毎日の授業や教育活動の中で各学年の発達段階に応じて子どもたち一人ひとりのもっている可能性を最大限に伸ばしていきたいと考えています。このことには、保護者・地域の皆様、学校の三者の連携をより一層進め、「地域に根ざした学校」づくりを進めて参ります。そして、「子どもたちが 明日かがやくために 今日がある」を皆さんと一緒に目指していきたいと思っています。



すべては、子どもたちの笑顔につながることを信じて・・・。

〈学年等職員構成〉

所属職員(◎:学年担当者)

1 年 1組◎村川 静保	2組 関岡 雄貴	3組 齋藤 さち子
2 年 1組 東 優也	2組◎小原 瑠美	
3 年 1組 東方 正彦	2組 永留 綾香	3組◎人見 直史
4 年 1組◎青山 明裕	2組 畠山 詩乃	
5 年 1組 今川 浩	2組 田中 康平	3組◎丸山 亜有美
6 年 1組◎重岡 慎一朗	2組 小澤 璃愛	3組 天野 陽平
たんぽぽ級 1組田上 愛美	2組 小野 光喜	3組◎佐々木 和美

国際級(さくら級) 池田 園子

級外等職員 校長 多久島 勲 教頭 霜島 恵 教務担当 尾崎 由美 山下 史子(3~6年音楽・4年書写)

松本 典久(少人数、T・T4・5・6年算数、4年付き)

養護教諭 飯塚 未来 事務職員 土橋 昭男 学校栄養教諭 山内 優里 増村 晋弥(コミュニティスク
ール、6年付き)

非常勤 菊池 明美 (水・木曜日)

用務員 倉繁 かすみ

調理員 佐藤敏枝 吉村美智子 野口智代 須田ちひろ 米原芳江 廣寄美加

特別支援教育補助指導員 岩城 陽子 (月~金曜日)

学校訪問相談員 吉崎真奈美 (金曜日) 介助員 仁田野 千寿 (月~木曜日) 小林 恵子 (月、火、木金曜日)

高橋 彩季 (月、火、水、金5/1より)

E L T イップ・ワイリン・カトリーナ

※学校だよりは、学校での子どもたちの写真や作品を掲載する場合があります。ご理解・ご協力をお願いいた
します。 校長 多久島 勲